

# 熊谷市民が 20年後の熊谷市役所を考える ワークショップ

## 第1回の様子

今回のワークショップでは、熊谷市にお住まいの18歳以上の方18名が参加され、活発な意見交換が行われました。

4つのグループにわかれ、熊谷市役所の現状と今後について課題だと感じていることや、将来の市役所についてのアイデア等について議論しました。最後には全体で議論した内容を共有し、ワークショップを終えました。

開催日	令和6年10月5日(土)
会場	熊谷市役所
対象者	市内在住の18歳以上の方 18名
グループ	4グループ(各4~5名)



## グループワークのテーマ

### テーマ①:現状の庁舎の課題

- ・ 現状の庁舎で感じる課題はどんなことですか？

### テーマ②:将来の庁舎、整備のあり方と懸念

- ・ 20年後の庁舎はどんなものであってほしいですか？
- ・ 庁舎整備の前提となる整備のあり方で、現時点で懸念される事項や、気になることはありますか？

#### ■テーマ②補足 | 整備のあり方案

##### 整備のあり方①「現本庁舎の位置で建て替える」

ポイント:仮設庁舎への移転が必要となり、相当の費用と期間を要する

##### 整備のあり方②「取得済みの公共用地に移転する」

ポイント:例えば、コミュニティひろば等、未利用の土地が確保されている

##### 整備のあり方③「別の位置に新設又は借用する」

ポイント:建設用地や入居先の確保が必要だが、現状では該当する土地や物件がない

## ご意見

### 現状の課題

#### ◆立地

- ・駅から遠く交通の便が良くない。歩く距離ではないため、車で来ることになり駐車場が必要になる。
- ・市役所の部署の一部が分庁舎に分かれているため、ワンストップで用事が済まない場合があるので不便だ。
- ・仕事で市役所に調査や申請を行ったり、打合せに行ったりするが、都市計画、土木、保育、教育委員会、農業、環境などの関連する部署が本庁舎と各分庁舎に分散しているため不便を感じている。
- ・市庁舎と分庁舎に市の機能が分散していると、部署間の連携が取りづらくなるのではないか。
- ・市役所通りの突き当りに位置しているため、通りの入口から見るとシンボル性があり、街の中心にあるという感じがする。
- ・市庁舎と分庁舎が点在していると、それぞれの場所で人が集まって賑わいが生まれて良いと思う。

#### ◆建物・空間

- ・現庁舎は古く、個性もないし恰好良くない。
- ・窓口スペースが狭く、立ったままでの対応になるので高齢者などには負担だろう。座って対話できるスペースを設けられると良い。
- ・大量の書類や普段使わない備品などが執務室や廊下にあふれていて、庁舎内を圧迫している様に見える。
- ・庁舎内が手狭なのでパーティションで区切っているのだろうが、パーティションにより更に圧迫感のある狭い印象になっている。
- ・トイレやエレベーターが狭く車いすの方などが大変だと思うので、バリアフリーを考えた設備が必要だ。庁舎内のバリアフリーだけでなく、庁舎までのアプローチにも配慮が大切だと思う。
- ・本庁舎のエントランスから各課に行くまでの案内サインの色が単調で、配置図、現在地などがわかりにくい。
- ・雨の日に駐車場から庁舎まで移動するのが大変だ。
- ・現庁舎は有名な建築家の設計で、古さを感じさせないデザインだと思う。自慢できる建物だ。

#### ◆その他(課題)

- ・市役所のパソコンの容量が小さく、添付ファイルを送れないのは不便だ。
- ・行政の動きは鈍いと感じることがあるので、即断即決でスピーディーに事業を行えるようになると良い。
- ・市から説明があった「本庁舎の現状と課題」は全てあてはまると思った。

#### ◆市民サービス

- ・届け出や事業の申請などをする際に、所管が異なるなどの理由のために、何力所も部署を回るのは不便だ。
- ・処理速度が速くなり、来庁者一人当たりの滞在時間は短くなったと思うが、それでもまだ庁舎内が混んでいる印象がある。
- ・部署間の連携が上手く行っていないのか、たらい回しにされることがある。ワンフロアで全ての手続きができる様にしたり、適切な課を案内をするコンシェルジュが設置できると良い。
- ・行き先や目的がはっきりしている人には、総合窓口が関所の様になっていて不便なので、直接窓口に行って番号で呼び出される方が良い。
- ・書類が多く非効率なので、ペーパーレスを進めてほしい。
- ・窓口のすぐ後ろに執務スペースがあったり、隣の窓口との距離が近いので、プライバシーが守られていないと感じる。
- ・休憩したり食事ができるスペースがないので、打合せができるようなカフェやゆったり休める休憩所があると良い。
- ・日々の生活との関係が薄く、加えて最近では行政サービスが電子化されてきているので、市庁舎に来ることがあまりなく、何があるのかなど良く知らない。

#### ◆職員の働く環境

- ・スペースが狭く、業務を行うのに十分な広さが確保できていないと感じる。圧迫感があり、職員の労働環境が悪くなっているのではないか。
- ・各課の間に仕切りがあって分断されているので、課と課のコミュニケーションがとりづらいのではないか。
- ・山積みの書類や職員が執務スペースで昼食を食べているのが見えたりして、雑然としている。食べ物の臭いなども気になる。
- ・怒鳴っている来庁者がいてもすぐに対処できていないので、トラブルの際には警備員を呼ぶなどして毅然とした態度で臨んでほしい。来庁者が残っているため時間通りに窓口を閉められないこともある。職員が職務に専念でき、負担の少ない労働環境が整うと良い。

#### ◆その他(提案)

- ・市の部署が1か所に集約されて、今ある部署が移動したら、分庁舎の空いたスペースはどうなるのか。
- ・賑わい創出の事業を積極的に行うことで、人口増加を図れると良い。
- ・20年後の市長は考え方が若く、未来を読むことができる人物であってほしい。

# 20年後の庁舎の将来像

## ◆立地

- 熊谷市は良い街だが魅力が伝わっていないと思うので、新庁舎ができるのなら、駅から庁舎、八木橋デパートまでを回遊して楽しめる様にできると良い。
- 公園や緑に囲まれた場所、周辺にゆったりできる所がある場所に市庁舎があると、来庁者は緑を感じながらくつろぐことができ、暑さ対策にもなって良い。

## ◆市民サービス

- 新しい庁舎の整備を機にDX化を推進してオンラインでの証明書発行、リモート相談窓口やネット投票などを実現し、庁舎に行かなくても済むサービスの構築ができるとよい。
- 20年後はスマホが更に普及して性能が上がり、オンライン化も進んで市役所に来る必要が無くなるかもしれないが、オンラインが使えない人は一定数いるだろうし、そういう時代だからこそ対面のコミュニケーションも求められると思う。
- 分庁舎がなくなった後でも対面での相談が必要な人には、公民館などの公共施設で定期的に出張相談会などを開催してはどうか。そういうフォローをすれば不便さを感じず、むしろ市民サービスの向上につながる。
- 外国人やLGBTQの人が市役所を使いやすいように、祈祷室やLGBTQ対応のトイレなどを整備できると良い。
- 外国人のトラブルは言葉の問題だけではないので、多言語対応だけでなく根気よく繰り返し伝えたり、ルールを遵守するようにペナルティを設けるなどして対処してほしい。
- 部署間のコミュニケーションの活性化のためにも、各課のスペースはパーティションで区切らないオープンな空間にできるとよい。可変性がある執務フロアは、その時のニーズに合わせて転用することが可能だし、災害時には避難所としても使えるのではないかな。

## ◆望ましい機能

- 誰もがフラッと寄って時間を過ごせる憩いの空間やフリースペース、貸し会議室などの機能があると人が集まりたくなる場所になると思う。至る所に椅子があったり、庇のある半屋外スペース、フロアの一部を使ったワークスペースなどを設けられるとよい。
- お洒落なレストランや打合せもできるカフェ、市民も使える職員食堂、お弁当が食べられる場所などの飲食機能があるとよい。
- 絵画、演劇、音楽などの芸術に触れられたりイベントが開催できる空間があると、気軽に文化的活動に参加でき、ラグビーワールドカップの時のように皆で盛り上がることもできる。
- カフェは必要かもしれないが、周辺にも飲食店があるので、庁舎内にレストランまでは必要ないのではないかな。
- 庁舎内に子どもが遊んだり、親子が楽しめるスペースがあると子育て世代にやさしい庁舎になると思う。
- 防災機能として避難所やヘリポート、倉庫があると良い。本庁舎に集約するのではなく、各部署が移転後に空いた分庁舎のスペースを活用できると良い。
- 将来は移動手段が変わり、ドローンで市役所に来られるようになりドローンスペースが必要になるかもしれない。

## ◆建物・空間

- 市役所は多くの市民が利用する施設なのでユニバーサルデザインであると同時に、見た目にもこだわった市のシンボルとなるようなデザインの建物になると良い。
- 高層ではなく低層の建物にする方が来庁者が使いやすくして良いと思う。
- 流行を追ったり奇抜なデザインにするのではなく、次の何十年間も飽きのこないシンプルなデザインが良いと思う。メンテナンスが難しいと手入れができないと感じるので、修繕のことまで考えてデザインしてほしい。
- 市庁舎はどこも同じような建物で個性がないが、市外の人が住みたくなる様な、まちの個性や文化を感じるデザインにできると良い。熊谷市はラグビータウンなのでラグビーボールの形などにしてはどうかな。
- 市庁舎の建築資材などには費用を抑えるために安い素材を選ぶのではなく、この先50年を見据えて耐久性の高いものや多くの市民が集まる場所にふさわしい素材を選んでほしい。
- 20年後もおそらく熊谷は「暑いまち」だと思う。地産地消、省エネルギーで脱炭素な建物で、かつ涼しいものができたら、まちのアピールにもつながると良い。
- 洪水なども含めた災害に強く、災害時に拠点としてしっかり機能する市庁舎が必要だ。
- 現在の課題だけではなく将来の課題も見据え、現市庁舎の様に手狭にならない様に考えて設計できると良い。
- 市民向けの業務窓口はワンフロアにしたり、部署ごとではなく分野別にフロアをまとめ、来訪者があちこちに行かなくても済むようなフロア構成にしてほしい。
- 周りを気にせず個人で相談ができるように、ゆったりとしたスペースの窓口があると良い。
- 現在の案内がわかりにくいので、部署ごとにカラーを決めて、床や案内にそのカラーをつけるなどして、案内サインを充実してほしい。
- カラフルな空間や子どもが楽しめる空間など、市役所の堅苦しいイメージを払拭する魅力的な空間づくりをすることで、若者や親子連れなどが行きたくなる庁舎になるとよい。

## ◆運営

- まちの中心にカフェやフードコート、憩いの空間ができるのなら、庁舎のオープン時間も重要だ。土日祝日や夜間も営業して活用される場になると良い。
- 庁舎が閉まっている間、駐車場が使われないのはもったいない。夜間はコインパーキングにして誰でも使える様にすれば収益につながる。
- レストランは市がやると縛りが出てくると思うので、民間に運営を任せることを検討したらどうか。
- 市庁舎をロケ場所として使われるようにし、市外の人が庁舎を訪れ、地域にお金が落ちるしくみが作れると良い。
- 超高齢社会などの課題に対応した庁舎にするために課題対応力の高い部署を設置し、横断的な推進体制をつくる必要があるだろう。災害時でも重要な業務が中断しない様に緊急時の計画が策定され、周知されていると良い。
- より良い市庁舎を建築できるように、優良な企業を誘致して税収を増やせると良い。流通拠点として企業誘致をしたらどうか。

## 整備のあり方(整備案①)

### ◆メリット

- 既存の庁舎があり馴染み深く、愛着がある場所だと思ふ。市役所通りの突き当りにあるというシンボリックな立地も保てる。
- 庁舎が移転されたら、どこかのエリアの人のアクセスが不便になるのは仕方がない。現状で遠い人はそれが当たり前になっているが、便利な人が不便になるのは抵抗が大きいだろう。現在の立地のままが採めないのかもしれない。
- 隣接する中央公園の緑が近くにあり、周辺がゆったりしていて良い。
- 高齢になって免許返納すると自転車か徒歩が移動手段になるので、住まいと庁舎が近いのは便利だ。今の立地から移転すると不便になるのでこのままが良い。

### ◆デメリット

- 仮設庁舎を作る費用がかかるため、経済面でマイナスが大きいのではないか。
- メリットは「利用者に分かりやすい」という点のみで限定的なので、デメリットの方が大きいと思う。

### ◆提案

- 現庁舎がある土地は、公園の拡大や他施設の移転に活用する方が良い。
- 新庁舎の建設地として、現庁舎の駐車場が使えるのではないか。そうすればコストに関するデメリットは解決できるので、きちんと検証して結果を示す必要があると思う。
- 隣接する中央公園にまず比較的高層の新庁舎を建て、その後今現庁舎の所にも建てるという二期に分けた工事ができれば、引っ越しは1回で済む。屋上を中央公園にできると良い。ただ、工事を二期に分けると調整ごが多く、完成までに時間がかかるかもしれない。

## 整備のあり方(整備案②)

### ◆メリット

- 現状よりも少し駅に近くなり、バス停も近くなるので遠方からの来訪者には便利になる。市のシンボルとしてふさわしい立地だと思う。
- 県と市の施設ができるので職員や来庁者が増え、駅から庁舎までの人通りも増えることで、周辺の商店街や飲食店が活気づき、地域活性化につながることに期待する。
- 公共施設を建てることで緑地が整備されて国道17号沿いに緑が増えたり、市役所通りを活用して歩行者天国にしたりできるとよい。
- 県の施設と複合するので、共有できる機能は一緒に使うことができれば、効率化が図れる。手続きのために来庁する事業者にとっても効率的だと思う。共有空間にうちわ祭会館のような地域の文化を紹介する施設ができれば、地域活性化にもつながる。
- 県の施設との複合によって補助金や県予算の活用ができて、他の案よりも財政負担を軽減できるのではないか。
- 建物を高層化すれば市役所スペースや駐車場の確保の問題は解決できるのではないか。地下に身障者用の駐車場を作れたら、障がいのある方が駐車場からそのまま上がることができて便利にもなる。
- 仮庁舎を建てずに庁舎建設に取り掛かれるので早期に着工、完成できて、時間的なメリットがある。

### ◆デメリット

- 整備にあたって県の意向が強くなり、市の意見があまり通らないのではないか。市のスペースが十分に確保できなかったり、県の事情でプロジェクトが進まなくなってしまうのではという懸念がある。
- 北部拠点と複合されるだけでは、職員などの利便性が高まるだけで魅力的な建物になると思えない。高層ビルになって駐車場も立体化されたら、緑ある空間や広い半屋外スペースといった憩いの空間が確保できるのか疑問だ。
- 駐車場は立体になるのかもしれないが、現在より狭くなって十分なスペースが確保できないのではないかと心配だ。

### ◆提案

- 市街地にある土地なので市役所を作るよりも商業施設を誘致するなど、もっと利益を生むより良い使い方ができるのではないか。
- 胎内くぐりなどの行事も行っている高城神社の参道があるので、参道を表にする必要があるのではないか。建物を建てる際には配慮してほしい。
- 現庁舎の跡地活用をどうするのかまで考えて計画してほしい。

## 整備のあり方(整備案③)

### ◆メリット

- これから適地を探すので、他の案よりも緊急時に備えた事業継続計画をたてやすく、カーボンニュートラルな地球環境に優しい立地を選択できるのではないかと。
- 交通の便などの条件から考えて、今提案されている整備案よりも良い場所を見つけるのは難しいと思う。
- 駅南口に市庁舎を作ったら、駅から近いのがメリットになるし、南口の活性化につながると思う。

### ◆デメリット

- 提案した駅南口に作ると確かに駅からは近いが、駅から来る市民はほとんどおらず、市民にとっては車でのアクセスが重要だとしたら、駐車場の確保が難しい駅周辺にあるのはデメリットだろう。
- 駅南口は裏口のイメージがあり市役所を作る場所として適切なのか疑問だし、静かな環境を求めている南口の住民からの抵抗もあるかもしれない。
- 提案した市民体育館と文化センターの土地を使う場合、過去の建て替え問題や花火が見えにくくなりそうなことを踏まえると住民の反発が大きく、時間がかかりそうだ。荒川が近くて防災面での不安もある。

### ◆提案

- 熊谷駅南口の秩父鉄道の敷地を借りて新庁舎を整備したら、駅から近くなり便利になるのではないかと。
- 市民体育館と文化センターの土地を使って、新庁舎を建てるのはどうか。
- 立地が不便な場合は、自動運転のバスや電動自転車のシェアサイクルなどを利用すると良いのではないかと。

## 整備のあり方(全案共通)

- 分庁舎にある各部署が集約されると、1か所で用事が済むので便利になる。
- 市役所だけでは不便なので、熊谷郵便局なども移転して用途が複合化されると、市庁舎に行く機会が増えると思う。同じ建物内でなくても、ある程度まとまったエリアに公共施設があるのは利便性が高い。
- 震災、水害などの際に市役所が機能できないのは問題なので、地盤が良く水害にも強い、逃げて安全で、対策本部として機能するのに支障の出ない立地にしてほしい。
- 公共施設は車でアクセスしやすい場所にあると良い。税務署周辺は一方通行で不便だ。
- 庁舎を集約して新庁舎整備を進める必要性は理解したが、立地についての判断はそれぞれの立場で異なるので難しい。
- 分庁舎の行政センターの機能は残ると聞いて安心した。行政サービスは不便がないように現状を維持してほしい。

## 進め方

### ◆検討の進め方

- 整備方法は既に決まっているのではないかと。将来の人口や交通の動向などを踏まえて、市が考えるべきことだと思う。ワークショップの位置づけや最終的な決定は誰がするのかなどの説明がほしい。
- 市役所周辺や商業地をどのようにしていくつもりなのかといったまちの将来像によって、市庁舎の整備のあり方も変わってくると思う。

### ◆ワークショップの進め方

- 将来を担う若い世代の意見や大里、妻沼地域の人達の意見を聞く必要があると思う。幅広い意見が吸い上げられる様にしてほしい。
- 効果的なワークショップの周知を行い、より多くの人参加できるようにする必要がある。
- 中野区の区役所庁舎、長岡市の市役所庁舎、大阪のうめきた公園などの先行事例は新庁舎のデザインや機能の検討に役立つと思うので、ワークショップで参考資料として紹介してほしい。
- ワークショップの参加者は固定なのか、グループメンバーは変わるのかが気になる。
- ワークショップは市の他のイベントがある日程を避けて、参加しやすい日にしてほしい。